

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

香川県 丸亀市

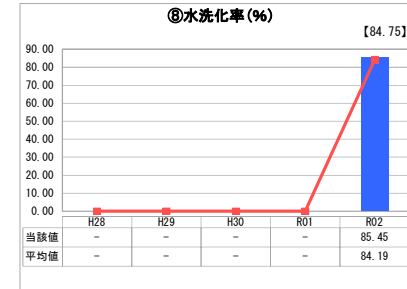
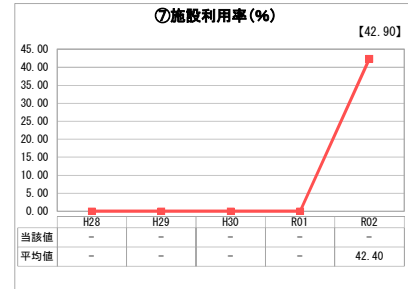
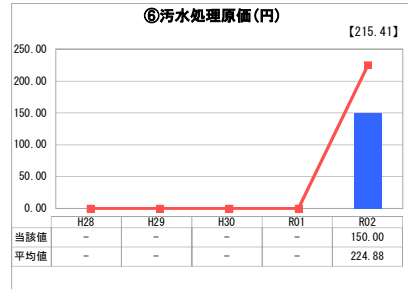
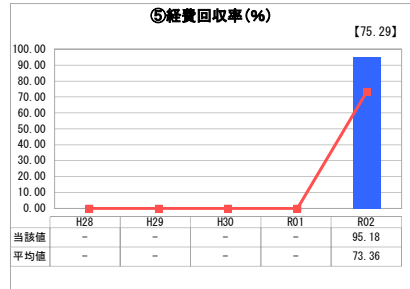
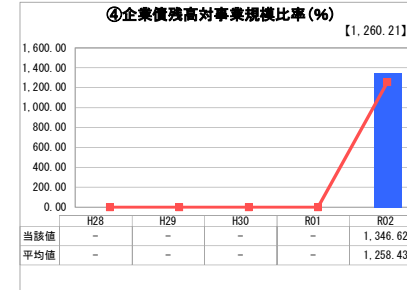
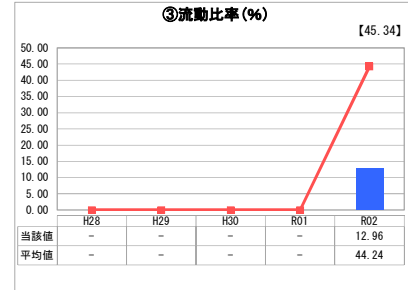
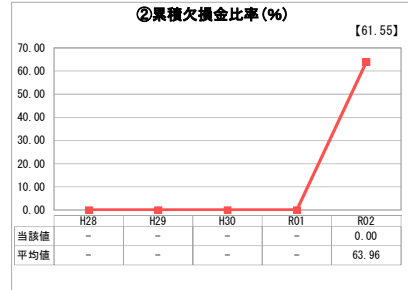
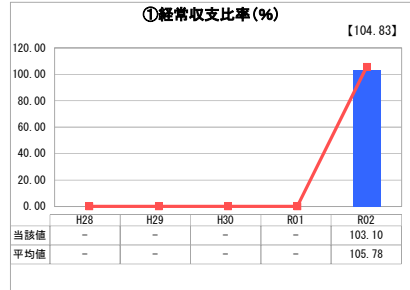
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	58.37	3.20	90.91	2,409

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
112,622	111.83	1,007.08
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
3,602	1.37	2,629.20

**グラフ凡例**

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

一般会計からの繰入金により経常収支比率は100%を上回ってはいるものの、類似団体平均値よりは低い状況である。一方汚水処理原価は、類似団体平均値を下回っていることから、比較的効率的な汚水処理が実施されているが、経費回収率は100%を下回ることとなり、汚水処理費を使用料収入で賄っていない状況である。企業債残高対事業規模比率についても、類似団体平均よりも高い状態にあり、使用料収入に対して高い比率となっている。更なる経費削減はもとより、経費回収のために適正な水準への使用料の見直し、今後の検討課題になる。

流動比率については類似団体平均値を大幅に下回っているが、未払金、企業債償還金についてそれぞれに財源を見込んでいるため、支払能力は備えている。

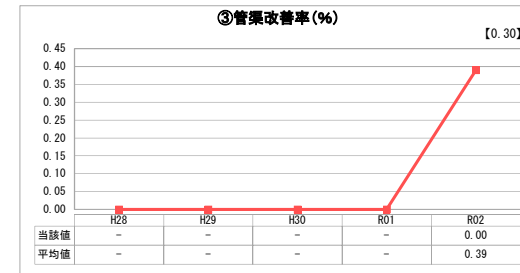
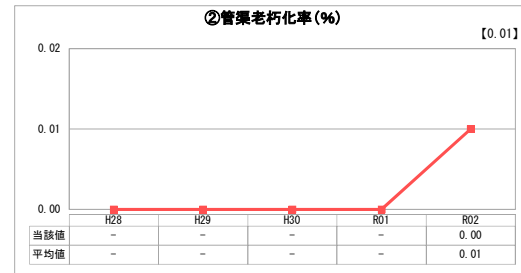
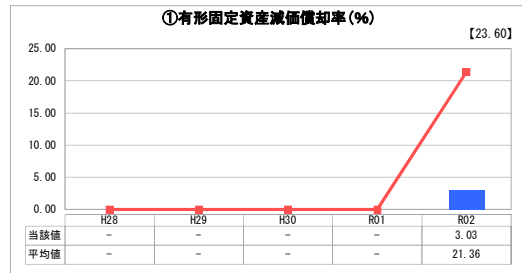
施設利用率については、中讃流域下水道へ接続しているため終末処理場を有しておらず、該当する指標がない。

水洗化率は、3カ年（令和元年度～令和3年度）の水洗化促進活動計画の推進により、類似団体平均値をわずかに上回っているが、今後も継続的な下水道への接続依頼により、使用料収入の増収に向け努めていく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が類似団体平均よりも大きく下回る要因については、令和2年度より地方公営企業法の一部適用となる際に各固定資産の取得価格を、その時点での残存価格で計上したことによるものである。供用開始から約20年と比較的新しいことから、管渠老朽化率は低く、管渠改善は行っていない。今後も、事業計画に基づき、管渠の新設工事を実施していく。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

供用を開始してから比較的新しいため、今後は、主に事業計画に基づく管渠の新設工事を行っていく。中讃流域下水道へ接続し、独自で終末処理場を持っていないことから、維持管理費用や建設費用が低く抑えられることから、経費回収率や汚水処理原価は類似団体平均値より良好である。しかし、経費回収率は100%を下回っており、人口減少により大幅な使用料収入の増加が見込めないことから今後さらに低下するものと見込まれる。

経営状況は、経常収支比率が100%を上回ってはいるものの、一般会計からの繰り入れにより賄われている部分が大きく、安定的な状態とは言えない。そのような状況の下、令和2年4月からは地方公営企業法の一部を適用し企業会計に移行するとともに、令和3年度には、経営の安定化を図り、持続的なサービスを提供するため、使用料の改定に向けた作業を進め始めた。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。